

# 校内研修計画

## ①研究主題

「主体的に学び、考えることを楽しむ児童の育成」  
～基礎学力と学習習慣の定着を図る指導の工夫～

## ②主題設定の理由

平成29年度から、活用力の基盤となる「基礎的基本的な内容の定着」と「基本的な学び型(学習習慣)の育成」を図りつつ、自ら課題をとらえ追究する主体的な学びの意欲を育てることを目指した授業研究に取り組んだ。平成30年度における成果と課題は、以下の通りである。

## I 成果

### ア 授業研究を通して

授業の流れを『めあての提示→PW→GW→CW→まとめ→ふりかえり』を基本に構成したことで、児童が学習の流れをしっかりと把握し、安心して学習に取り組めるようになった。GWでは「話し合いの進め方」のマニュアルを使うことで、GWが少しずつ活性化して、進んで考えを他者に伝えよう意識した活動がみられるようになった。CWでも、「なるほど」「分かった」などの児童の声が授業中に出るようになった。課題解決を目指す気持ちが高まり、学習成果を「自分でまとめ、発信する喜びを得た児童」が増えてきたからだを考える。このことは、全教員が共通理解を図り、授業改善に向けた取組を心がけてきた成果といえる。

### イ 基礎基本の定着や学習習慣・学習規律の育成を通して

全教員が身に付けさせたい学習規律や「聞く・話す・書く技術」などの学習習慣等について話し合い、共通した取組を行った。全校一斉の朝の読書では、昨年度同様、学校全体が静かな時間を共有することができ、朝の会や1時間目の授業に落ち着いてつなげていくことができた。

さらに、国語科の授業で実施していた授業始めに音読教材や教科書教材の音読活動を、他教科にまで取り組むことによって、声を出し表現したり、文章に親しんだりする関心や態度が高まりがみられた。自他の音声表現を味わうことは、学習意欲の向上のみならず聞く態度の向上にもつながっていった。

他方、基礎基本の定着のため、算数科で算数用語や授業のまとめを記録するシートを綴る「算数ファイル」を作成した。進んで既習事項の確認をしたり、既知の学習内容を基に新たな課題を解決していくためのヒントとして活用したりする児童が増えた。自立学習の一步になったといえる。朝のチャレンジタイムでは、「漢字や計算等の練習学習」に取り組ませたり、過去の学習状況調査問題に取り組ませたりしてきた。12月の調査結果では漢字の習得率も向上するなどの成果がみられたり、無回答率が減る傾向が続いたりする成果にもつながった。

## II 課題

児童の学力が着実に伸びていくためには、各学年の担任の授業実践は尊重しつつも、全校統一するべきところをしっかりと押さえ、共通理解のもとに、実施していく必要がある。

各学年で押さえるべき基礎的な内容の習得が不十分な児童が少なからずいることも事実である。児童が確実に学習内容を習得できるように、全教員が各単元における教材分析をもっと丁寧に行わなければならないと授業研究会で確認があった。

学習規律として「聞く力」の向上・育成は不可欠である。並行して「イメージする力」のさらなる育成を図っていく必要がある。この2つの力を育成するためには、どんな手立てが有効なのか、研究を深めていかなければならない。

そこで本年度は、「聞く力」と「イメージする力」の向上・育成を図る手立ての追究も視野に入れながら、主体的に学び、考えることを楽しむ児童育成の基盤である「授業づくり」と「環境作り」の双方の視点から次の事項に重点を置き、研究を進めたい。

### 【授業づくり】の視点

○主体的・対話的に学ぶ児童を育てるための工夫

### 【環境づくり】の視点

○学習規律と学習習慣を確立させ、基礎的基本的な内容のさらなる定着を図るための工夫

### ③研究目標

本校教育目標である「心豊かに自ら学び生き生きと活動する納所っ子の育成」を図るために、基礎学力と学習習慣を身に付ける学習指導の研究を進める。

### ④研究仮説

- 授業において、課題提示を工夫したり対話活動を意図的に仕組んだりすれば、児童の主体的・対話的な学びがみられ、主体的に学び、考えることを楽しむ児童の育成が図られるであろう。
- 基本的な学習内容・学習技能の定着を目指すと共に、児童自身が自らの伸びや成長を実感できる学習環境づくりを、授業改善と並行して行っていけば、思考力・表現力等の基盤となる基礎的基本的な内容のさらなる定着が実現されるであろう。

### ⑤研究内容

#### I 主体的・対話的に学ぶ児童を育てるための工夫

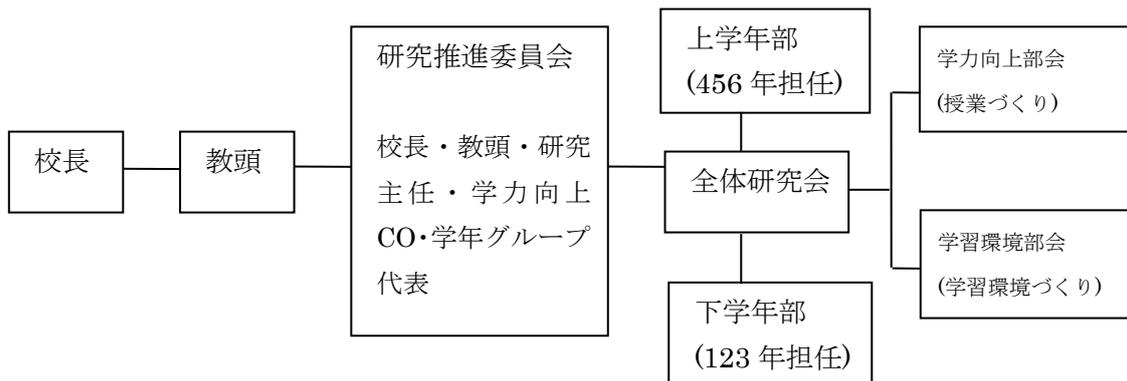
例) 課題提示の工夫／教師の説明を減らし対話力を育てる／めあてに沿って振り返らせる(学んだ内容を確認させ確実な定着を図る)／児童の伸びや成長を積極的に伝え学ぶ意欲を引き出す／学習過程の工夫／ワークシートの工夫 等

#### II 学習規律と学習習慣を確立させ、基礎的基本的な内容のさらなる定着を図るための工夫

例) 生活チェック表による実態把握と家庭への啓発／読書活動の工夫／朝のチャレンジタイムの取組の工夫／級外職員による補充学習体制の充実／室内の掲示物の工夫(学びの履歴等)／音読活動の充実／図書館利用指導の充実 等

### ⑥研究組織

#### I 組織図



#### II 構成メンバーと活動内容

ア 研究推進委員会・・・校長、教頭、教務、研究主任、学年グループ各1名

##### ○活動内容

- ・研究内容の計画立案
- ・全体研究会の計画運営

##### イ 学年部会

- ・下学年部
- ・上学年部

##### ○活動内容

- ・授業研究会へ向けた検討と授業研究会の運営

##### ウ 学力向上部会(授業づくり)

- ・授業改善についての検討と提案・検証

##### エ 学習環境部会(学習環境づくり)

- ・学習環境の改善についての検討と提案・検証

### ⑦授業研究会に係る校内研究について

- ・全学年で校内研究授業を行う。
- ・教務等の級外職員も研究授業等を通して授業を公開する。
- ・特別支援学級においても支援学級の授業の公開、または交流学級での指導のあり方についての研究授業を公開する。

⑧校内研究に係る主な研修内容

回	期 日	内 容
1	4月3日(水)	研究推進委員会(校長、教頭、教務、研究主任、学年グループ代表)
2	4月10日(水)	全体会：研究内容・研修計画等について
3	6月5日(水)	校内研究会
4	6月12日(水)	肥中校区教育研究会研修会・総会
5	6月26日(水)	校内研究会(授業研①)
6	7月23日(火)	学力向上に係る研修会(講師招聘)
7	8月21日(水)	校内研究会(2学期の計画)
8	9月11日(水)	校内研究会(授業研②)
9	10月2日(水)	校内研究会(授業研③)
10	10月9日(水)	校内研究会(授業研④)
11	10月30日(水)	肥中校区教育研究会研究大会(田野小)
12	11月6日(水)	校内研究会(授業研⑤)
13	11月13日(水)	校内研究会(授業研⑥)
13	1月22日(水)	校内研究会(新教育課程等・学力向上)
14	1月28日(火)	授業研究会(学力向上推進校研究授業)
15	2月5日(水)	校内研究会(校内研のまとめ・学力向上)